

## 第4回 学校協議会要点録

1 日時 令和6年1月25日(木) 午後4時より

2 場所 島本町立第二中学校 校長室 (2階)

3 次第

出席者 西山 洋子 井上 功 南出 孝明 池尾 幸司 島村 裕弥  
三谷 育子 尾崎 裕己  
山田 敏博(校長) 石橋 孝之(教頭) 三上 裕貴(首席)

(1) 開会

会長挨拶

(2) 案件

① 学校教育自己診断の結果について

### 4. 自学自習力について

昨年度より肯定割合は向上したが、まだ8割を切っている。宿題を教職員から出してはいるが、「自分から計画的に」という点を伸ばしていきたい。自分に何が足りないか分析し、それに対してどのように計画的に学習していくのかを考える力を生徒に付けていきたい。

### 7. キャリア学習について

3年生は進路という点で意識は高いが、1, 2年生が自分の生き方と合わせて考える取組や意識向上が必要である。本年度のキャリア教育の一環として、2年生では企業と連携し、SDGsを含めたキャリア学習の取組を行うなど、今後も自己のキャリアについて考える機会をつくっていく。

(意見) 生徒は高い肯定の割合が多いが、保護者には、ややあてはまるが多い。その点をどのように伝えていくかなど問題がある。

(返答) 今回はオンラインで行ったため、保護者の回答が140名程度であった。(昨年度は約380名) 次年度も同じようにオンラインで実施するが、今年度はお知らせの紙だけであったので、メール配信を加えて実施するなど工夫をする。

(意見) 何か学校からの変化がある場合は、1回のお知らせでは保護者は確認しづらい。そのため、学校だよりや他の方法を利用して複数回伝えていく必要があると思う。

(意見) 回答が低いことをどのように改善するか考えていく必要がある。そのため、複数回保護者にお知らせをしていくことは良い取組であると感じる。

(意見) タブレットを使った授業はわかりやすい。の項目について生徒が下がっていたのは驚いた。こどもはよく使っているためなぜなのかと感じる。

(返答) 実際タブレットを授業や家庭学習で活用している。昨年度と項目の聞き方が変わった点も考えられる。

(意見) キャリア教育が何をやっているのか気になっていたが、2年のSDGsの企業との取組を見た。ほかの学年もどのようなことをしているのか。

(返答) 全学年、生き方(自分らしさ、他の人や社会とのかかわり、進路など)について

